

『京土会 懇談会』によせて

(株)タクマ(H9卒) 松田由美



はじめに

就職活動のことはもう記憶に乏しいのですが、就職氷河期なうえに就活開始が遅くなり、学卒で女性であるなど門は狭まるばかりでした。環境に携われるならどこでも・・・と、具体的なビジョンに乏しいまま縁あって今の会社に就職しました。以後11年になります。皆さんのお役に立てる話ができるかわかりませんが、一つの参考になれば幸いに思います。

これまでの主な業務

計画設計業務（プラントエンジニアリング）

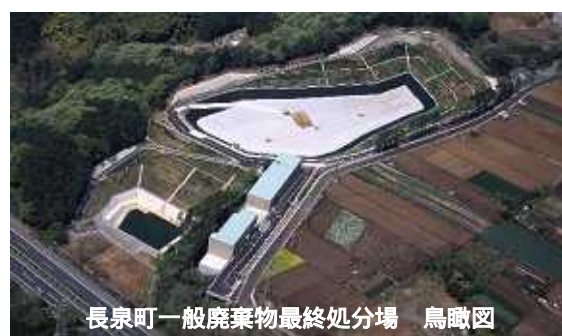
下水処理全般、し尿・浸出水処理 など

特に、最終処分場PFI事業〔右写真〕

研究開発業務

汚水の促進酸化処理法に関する研究

し尿処理の効率化に関する研究 など



長泉町一般廃棄物最終処分場 鳥瞰図

プラントエンジニアリングという仕事

当社はごみ焼却設備や排水処理など様々な「プラント」を取り扱っています。プラントエンジニアリングとは、お客様のニーズを満足できるように多種多様の機器や装置を組み合わせる仕事です。それには環境工学以外にも、機械、材料、電気などの幅広い知識が求められます。また、工事を円滑にすすめるため、設計会社や工事業者とのチームワーク、コミュニケーション力も必要です。これらを乗り越え、自分が絵に書いたものが実際に形になって動くことが、一番の魅力です。

研究開発という仕事

企業での研究は、売れる商品を作り出すことが先決になります。同じ環境工学卒の人間が、卒業年度に関わらず同じ土俵に乗ることも多いでしょう。閉鎖的な業界となりがちですが、私は運良く複数企業の共同研究会に参加でき、そこで出会えた異業種の先生や研究者との交流は、勉強になりよい刺激になりました。

女性として・・・

世間一般では男女平等意識は根付きつつありますが、この業界の女性技術者は多くありません。内外関わらず受け取り方は千差万別です。初対面で顔を歪められても、自分に京大卒などの表札はありません。また男性と比較して明らかに体力は劣ります。男性だと一人でできる作業にもう一人多く人手（コスト）が必要な場合もあります。これらのハードルを乗り越えなくてははいけません。一方で、少数派であることは武器にもなります。女性であることうまく利用することで、社会生活も変わってくるでしょう。